

委員会レポート（常任委員会・所管事務調査）

総務文教常任委員会

調査日・調査項目

平成26年8月6日

①学校教育について

②消防広域化の検討状況について

調査内容

①昨年10月に町内小学校で起きた児童に対する体罰の経緯、経過、処分について教育委員会から報告を受け、今後の指導のあり方や体罰根絶の対応策について調査を行った。

②一部事務組合規約及び災害出動計画の内容について企画室から説明を受け、これら広域化に係る進捗状況、直近署所からの出動見直し区域や消防団の体制等について調査を行った。

民生常任委員会

調査日・調査項目

平成26年8月26日

戸籍及び住民基本台帳、国民年金について

調査内容

戸籍、住民基本台帳及び国民年金について民生部町民課から説明を受け、住民基本台帳においては、平成25年に関係法令が公布された

「社会保障・税番号制度」（マイナンバー制度）の運用方法や情報管理、国民年金の保険料や給付等について調査を行った。

産業建設常任委員会

調査日・調査項目

平成26年8月21日

①緑の基本計画について

②コンクリート製品の開発等について

「現地」共和コンクリート工業株式会社帯広支店

調査内容

①当初計画の策定から10年が経過し、本町における緑の現状と課題の把握、町民意識の変化を調査した中で平成24年に改定された「緑の基本計画」について建設部都市施設課から説明を受け、計画の進捗状況について調査を行った。



②多自然型、環境配慮型のコンクリート製品の説明を受ける。

意見交換会を開催

「各種団体の声を聴き、議会活動に反映させるため、議会改革の一環の取り組みとして行っている」

◆平成26年7月18日

万城目正と昭和歌謡を継ぐ会との意見交換

（総務文教常任委員会）

【内容】

万城目正など幕別町にゆかりのある人物が残した歴史、文化及び功績を今後後世にどう引き継いでいくのか、そのあり方について万城目正と昭和歌謡を継ぐ会（会長小助川 勝義氏）と意見交換を行った。



万城目正と昭和歌謡を継ぐ会との意見交換（町民会館）

議会広報研修会に参加

北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が、平成26年8月22日に札幌市（ポールスター札幌）で開催された。

この日は、「読まれ、親しまれ議会活動が伝わる議会報の基本と編集技術」と題して、広報コンサルタント芳野政明氏より講演が行われた。

編集の流れや、原稿の書き方の技術的な話や町政の批判紙にならないようにすること、情報の公開を積極的にすることの重要性など、多岐にわたった内容であり、参加した委員は今後の議会広報の紙面づくりに役立てようと講師の話聞いた。



委員会レポート（常任委員会・道内行政視察）

総務文教常任委員会

視察日

平成26年8月18日、19日

現地視察および内容

《株式会社油屋福太郎（小清水町）》

廃校舎を活用し新工場を建設するに至った経過、生産されているせんべい「ほがじゃ」の生産ライン、雇用状況、児童がどのように利用しているかなど、説明を受けた。平成25年度の開業以来、従業員34人の内8割を地元から採用している。近隣の児童は自転車に乗り、毎日工場に訪れ、コミュニケーションの場として利用している。町には未利用の校舎はないが、民間への売却、工場を開放する放課後活動のあり方など参考になった。



工場内部のホールや駐車場では自由に子どもたちが遊んでいる。



校史資料室での説明（網走高校と向陽高校の校旗や資料が掲示されている）。

《北海道網走桂陽高等学校》

平成20年3月、私立の網走高等学校と道立の網走向陽高等学校の両校が閉校し、同年4月に両校が再編成統合された。再編に至った経過と課題、北海道網走桂陽高等学校の概要、生徒確保の取り組みと受入体制の整備などの説明を受けた。同学区の網走南ヶ丘高校は「進学重視型」の普通科単単位制、網走桂陽高校は、普通科と商業科・事務情報学科を併設し、地域に有為な人材を送り出す地域に根ざした高校としてそれぞれが役割を果たしている。特色ある学校づくりには努力が必要であり、教職員の授業力・生徒指導力の向上が必要であるなどの説明があった。

《網走スポーツトレーニングフィールド》

平成10年度に開設した網走湖を見下ろす自然林の中にあるスポーツ施設である。施設内のセンターハウスで合宿誘致の経過や取り組み内容、また、これまでの利用実績等について担当者から説明を受けた。経済効果は平成25年度で、約5億5000万円（宿泊約1億5000万円、お土産約1億円、その他交通費等）と試算している。網走スポーツトレーニングフィールドの設備、受け入れ体制、これまでの実績を見たとき、トッパスリゾートの受け入れには投資と時間が必要であると感じた。



施設内ラグビーグラウンドでの合宿練習状況を視察した。

《美幌町民会館「びほーる」》

「交流と共感 創造と参加」をキーワードに、世代間の交流や新しい文化を創造し、町民の芸術・文化活動の場として建設していた文化ホールが平成24年8月にオープンしており、その基本方針、施設の整備方針、施設の主な概要、基本設計、整備事業費及び運営等について担当者から説明を受けた。整備事業費は1億8466万円であるが、借金することなく完成している。オープンして2年目を迎える。平成24年度の平均稼働率71・8%、平成25年度の平均稼働率は76・6%と高い稼働率を維持している。



「びほーる」大ホールを視察（観客席は499席）。

委員会レポート(常任委員会・道内行政視察)

産業建設常任委員会

〔視察日〕

平成26年7月16日、17日

〔現地視察および内容〕

《占冠村役場・道の駅》

道の駅の利用状況等の変化について入館者数推移表を開示してもらい説明を受けた。占冠インターチェンジ開通、高速道路無料化の実施などで伸びた入館者数は全線開通後から激減していた。特効薬はないが小さい取り組みを積み重ねていくことでトータルとして一定の効果を発揮する。また富良野・美瑛広域観光への南玄関口として千歳空港を起点として旭川への観光バス、スキーバスの休息立ち寄り場として充実させていくとのことであった。



中村博占冠村長より道の駅などについて説明を受ける。



低コストの薪ボイラーを視察（約3600万円の事業費）。

《湯の沢温泉（占冠村）》

占冠村では面積の94%が森林という地の利を生かした木質バイオマスの活用、平成25年度占冠村一村一エネ補助事業の事業内容などについて説明を受けた。豊富な森林資源を背景に、地域資源の利活用を通し、既存の重油から木質燃料へのエネルギー転換、それによる二酸化炭素と燃料代の削減、派生する新規雇用の創出と資金循環による地域内経済効果を目的としており、特に注目すべき点は、湯の沢温泉に導入したバイオオマスイラーは薪ボイラー式であり、ペレットやチップを活用することなく燃料貯蔵庫のコストも低い新エネルギーを導入した点である。



林野庁の補助金などを有効に活用し、チップボイラーを導入した。

《芦別市役所・芦別温泉スターライトホテル》

芦別市の木質バイオマス利用促進事業の事業内容などについて説明を受けた。芦別木質バイオマス開発協同組合を核とする地域資源の有効活用であり主にチップ製造を行い、スターライトホテルなど（芦別振興公社）の木質チップボイラーに材料を供給している。

芦別市の製材業者、素材生産業者、建設業者、販売店で構成する協同組合が担うことでボイラー、チップ破砕、運搬トラック、チップの販売など「流出資金域内還元」を目指して木質バイオマスの利用促進を積極的に展開する姿を学んだ。



廃校舎を利用していることから、展示スペースに余裕があり観覧しやすい。

《富良野市博物館》

平成13年に廃校となった富良野農業高校の廃校舎を利用した生涯学習センター内にある博物館を視察した。1階には動物剥製や昆虫標本、地質コーナー、考古資料、開拓期の資料、農機具を中心に展示され、2階には林業や商業関連をはじめ、衣食住にまつわる生活資料が展示されている。

「戦後のあゆみ」のコーナーでは昭和30年代の復元民家や昭和の時代に流行した玩具、レコードなどが展示され、戦後復興期から高度経済成長期を経て現在に至るあゆみを楽しみながら学べるような工夫がされていた。

◎第4回定例会（予定）を お知らせします

11月28日 初 日
12月10日 一般質問
11日 一般質問
12日 一般質問・議案審議
19日 最 終 日

●問合せ先：議会事務局（54-6626）

◆一般質問項目（通告順）◆

- P 6 小島 智恵 議員
・ いじめ・体罰問題と毎月19日「まくべつ教育の日」について
- P 7 増田 武夫 議員
・ 異常気象や地震などの災害に備えて、防災対策に抜かりない対応を
- P 8 岡本 眞利子 議員
・ 地域包括ケアシステムの構築について
- P 9 野原 恵子 議員
・ 子どもが健やかに成長できる対策を
- P 10 芳滝 仁 議員
・ 財政関与団体に対する町の対応と今後について
- P 11 藤原 孟 議員
・ 産業用大麻の栽培で十勝農業の母となれ
・ 不登校、ひきこもり、ニートを地域の力に
- P 12 中橋 友子 議員
・ 幕別町第3次行政改革について
- P 13 谷口 和弥 議員
・ 障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域社会に
- P 14 東口 隆弘 議員
・ 人口減少、少子化対策に向けた取組について
- P 15 田口 廣之 議員
・ 消防団員の確保について
・ 災害時における連絡方法について

※この内容は、一般質問通告書に記載された質問項目です。

◆議会日誌◆

- 8月6日 埼玉県鴻巣市議会行政視察
6日 議会運営委員会
6日 第3回臨時会
6日 総務文教常任委員会
18日～19日 総務文教常任委員会行政視察
21日 産業建設常任委員会
22日 議会広報研修会
26日 議会運営委員会
26日 民生常任委員会
- 9月3日 議会運営委員会
3日 第3回定例会（初日）
3日 決算審査特別委員会
3日 産業建設常任委員会
3日 総務文教常任委員会
3日 議会広報広聴委員会
5日 民生常任委員会
9日 議会運営委員会
9日 第3回定例会（一般質問）
10日 議会運営委員会
10日 第3回定例会（一般質問・議案審議）
17日 決算審査特別委員会
17日 総務文教常任委員会
18日 決算審査特別委員会
18日 議会運営委員会
22日 民生常任委員会
25日 民生常任委員会
26日 第3回定例会（最終日）
26日 全員協議会
26日 庁舎建設に関する調査特別委員会
- 10月2日 産業建設常任委員会
2日 愛媛県伊予市議会行政視察
14日 議会運営委員会
14日 議会広報広聴委員会
17日 議会広報広聴委員会
17日 議会運営委員会
17日 第4回臨時会
17日 十勝町村議会議員研修会
20日 大分県杵築市議会行政視察
22日 総務文教常任委員会
24日 民生常任委員会
30日 静岡県長泉町議会行政視察